

平成27年1月14日

各位

会社名 株式会社システムインテグレータ  
代表者名 代表取締役社長 梅田 弘之  
(コード番号: 3826 東証一部)  
問合せ先 取締役管理本部長 山田 ひろみ  
(TEL. 048-600-3880)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年10月15日に公表した平成27年2月期通期業績予想について、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

#### 1. 平成27年2月期通期業績予想の修正

(1) 平成27年2月期通期個別業績予想の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,000 ～3,590	△660 ～△70	△658 ～△68	△722 ～△32	△130.34 ～△5.78
今回修正予想 (B)	3,000	△710	△708	△808	△145.87
増減額 (B-A)	— ～△590	△50 ～△640	△50 ～△640	△86 ～△776	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期) (注1)	3,553	432	434	272	49.47

(注1) 前期実績の1株当たり当期純利益は、平成25年8月1日に実施いたしました株式分割(1株を2株)が、前前期首に行われたものと仮定して算定しております。

#### 2. 修正の理由

当社は、パッケージソフトウェアの企画・開発・販売を主要事業としており、ソフトウェア開発支援ツール「SI Object Browser」シリーズ、ECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」、Web-ERPパッケージ「GRANDIT」、プロジェクト管理パッケージ「SI Object Browser PM」の4つが主要な製品となります。

当第3四半期累計期間では上記4製品に関係しない、その他事業である「システムインテグレーション分野」におきまして創業以来最大規模の不採算プロジェクトが発生し、当該案件の収束を目指し、大幅な人員補強による体制強化を図り対応した結果、多額の損失計上となりました。プロジェクトの進め方や要員計画、スケジュールの見直しなど当事業年度中の決着を目指して顧客と調整を図り、第2四半期時点においては顧客との合意が成立した場合には、しかるべき請負代金を売上高として計上する可能性があるため、レンジ方式による開示としておりました。

当該赤字プロジェクトは、事態の収束に向けて確実に進展しており、不確定要因も解消されつつありますが、いまだに合意には至っておらず、現時点では当事業年度末までに顧客交渉が決着し、売上計上できる可能性は極めて低い状況であることから、レンジ方式による業績予想から数値方式による業績予想に変更いたしました。

また、当該赤字プロジェクトへの要員投入などの影響により、「GRANDIT」関連事業の業績が当初の見込みを下回る見通しとなり、営業利益、経常利益ともに50百万円の損失拡大、当期純利益は86百万円の損失拡大となる見通しです。

しかしながら当該不採算プロジェクト以外の主要4製品に関わる事業は、要員投入の影響はありながらも着実に収益を上げており、当第3四半期会計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益はともにプラスに改善しております。当該赤字プロジェクトを収束させることにより再び利益の出る体制に戻せるものと考えております。

(注) 上記予想値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によりこれらの予想値とは異なる場合があります。

以上